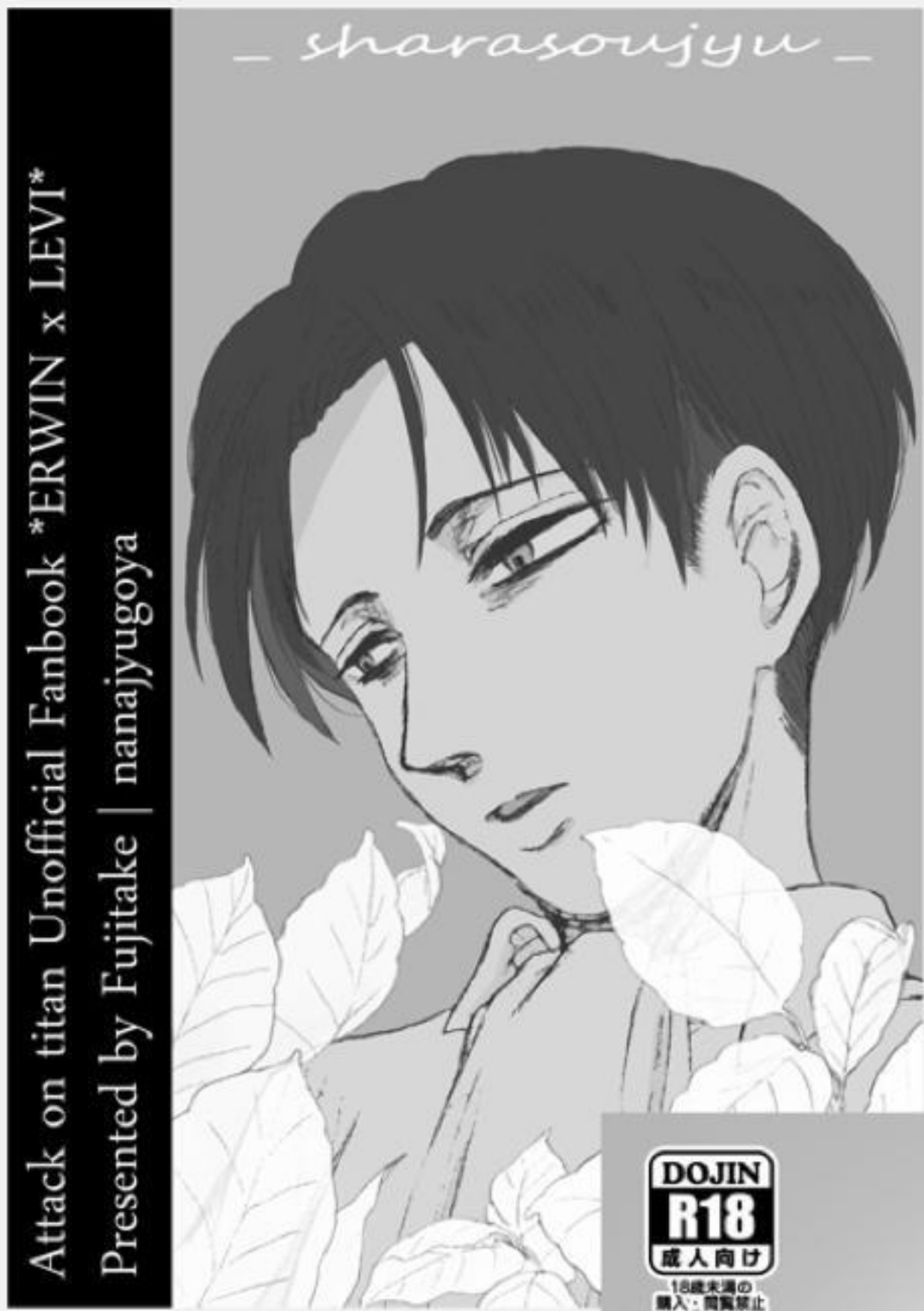


2016.01.24 発行
エルヴィン×リヴァイ

※エルヴィン生存ルートです。
エルリが隠居中

沙羅双樹

はぎっ

こら…
いたずら
するなよ

フフッ

ぎゅっ

エルヴィン？

おはよう

リヴァイ

おはよう
寝ぼすけ

ぶにっ

ぶひゃっ

お前がソファーで
二度寝している間に
もう二回目の洗濯だ…
よくそんなに眠れるな

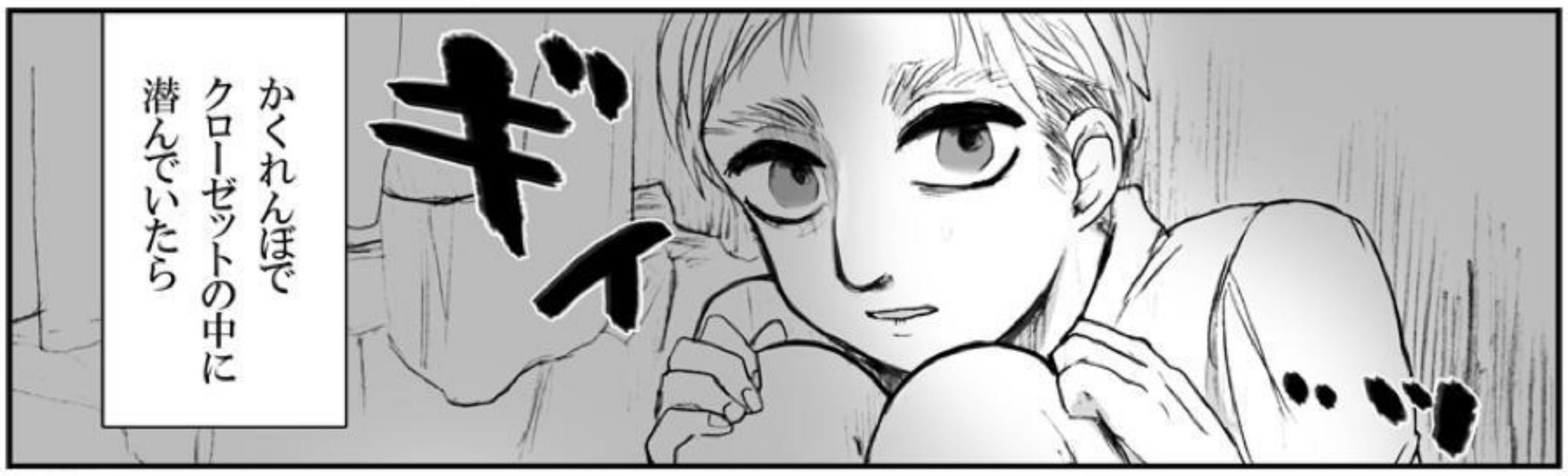
リヴァイは優しいんだ

彼は僕のことを
一番に思ってくれる人

だから厳しいときもあるけれど

僕のワガママを
聞き入れてくれる

僕とリヴァイの
出会いは
兵団の中だ



夢中で隠れてたら
いつの間にか
僕は迷子になって
いたらしい

だれ？

…お前こそ
誰なんだよ

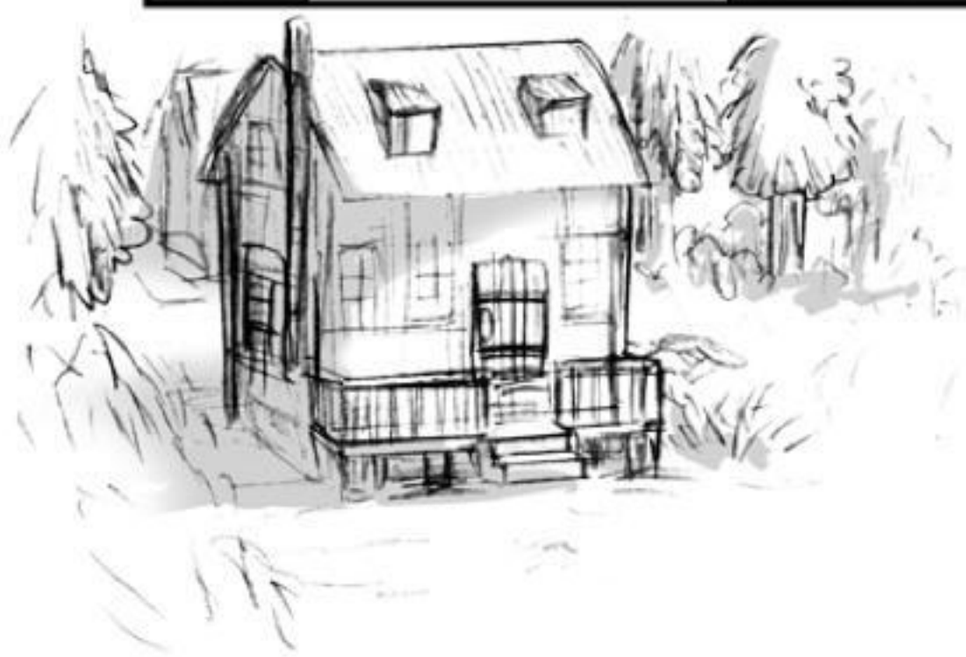
たくさんの
人の視線が刺さる

僕はいま
ひとりぼっちなんだ

エルヴィン待たせたな
…なあ
二人でここを出ようぜ

そう言ってリヴァイは
僕を連れ出してくれた

夜の風は冷たくて 寂しいけど
リヴァイが傍にいてくれるから
寒くは感じなかった



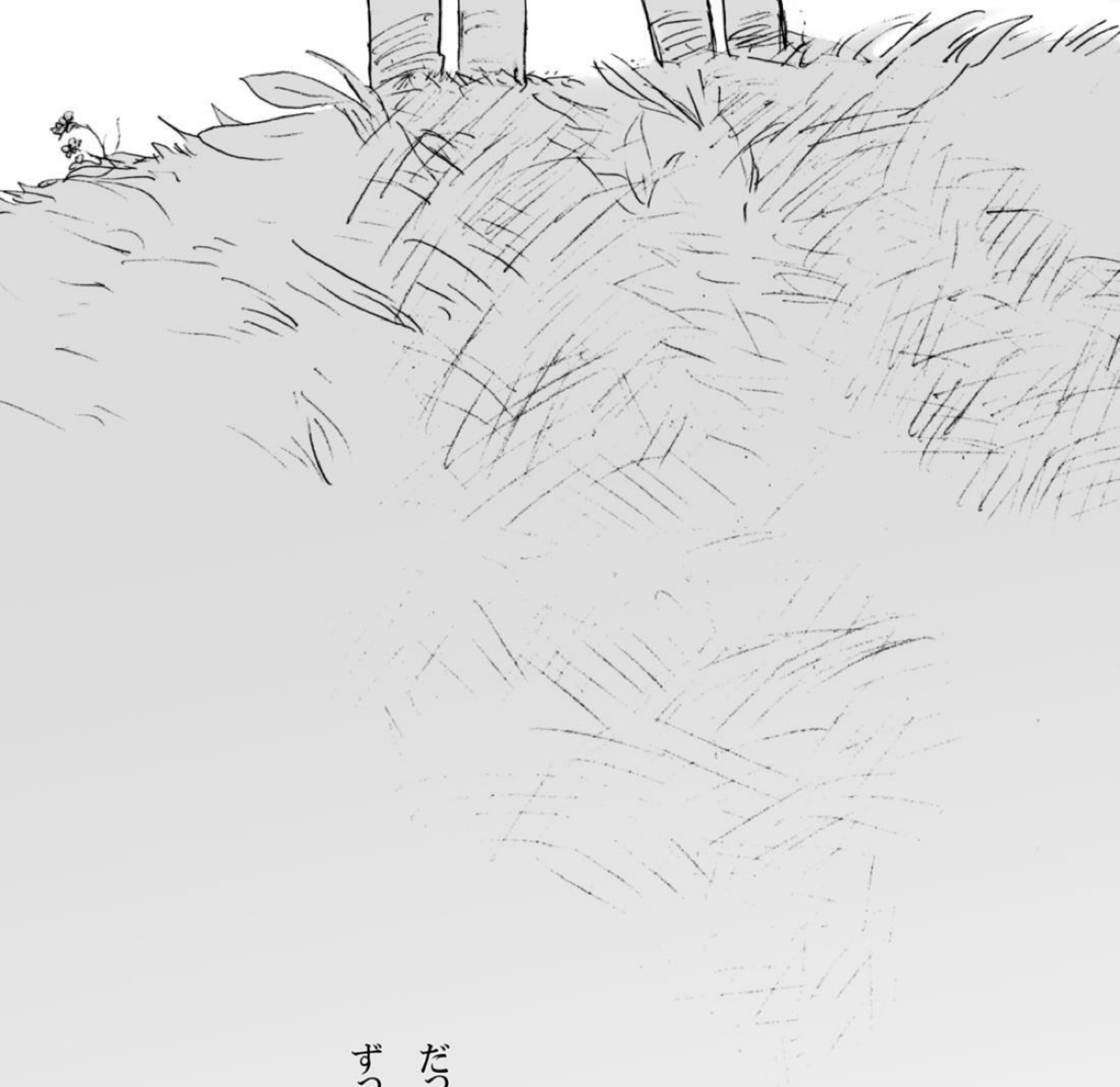
兵舎から離れた場所に
馬車が待っていた

まるで
かくれんぼの続きだ
ひっそりと誰にも
見つからないよう
山を登り
そしてこの家に
辿り着いた

僕たちを乗せていた
馬車はあっさりと
去ってしまい
二人ぼっちの生活が
始まった

新しい生活に
不安も、不満もない

僕はここでの生活を
気に入っているんだ



だって
大好きなリヴァイと
ずっと
一緒にいるのだから

カチ…

カッ…

モグ…

そういえば…
ハンジが壁外調査から
帰って来てるそうだ

もうすぐ顔を出しに
来る頃だろうな…

アイツは
うるせえから
この家もきっと
賑やかになるぞ

……

えっと…

ハンジって
誰だっけ？

兵士だ
変人で
今は
団長だ

団長…

んー…
リヴァイも
兵士だったよね

兵士
辞めてしまったの？

ああそうだ
もう兵士長なんかじゃない
ただのリヴァイだ

なあ
お前は

エルヴィン・スミスを
知っているか？

トラオムや
ベギーアデの
ことは？

えっ

あの…

分からない…

ギュッ

僕…リヴァイと
会う前のこと
覚えてないから…

ごめん…
リヴァイ

ガタッ

どうした　腕が痛むのか？

あ…

…平気

そうか

困らせて悪かったな…

知らないならそれでいい

いいこだ　エルヴィン

ポツ
ポツ
ポツ…
ザァァァァァァ…

ウウ…ッ
ポタッ
ポタッ

フゥ…
フ…!

俺は覚えてる
…お前のこと

お前が
分からなく
なっても

もう
いなく
なっても

エルヴィン…

はあっ…

くりっ♡

はあ

カーン…

んぶ

じゅぽっ

ぢゅっ

んっ

ふう、う

もこっ

ちゅっ…

ぢゅうっ

はやく

じゅるる

ぢゅぽっ

はやく…

んふ

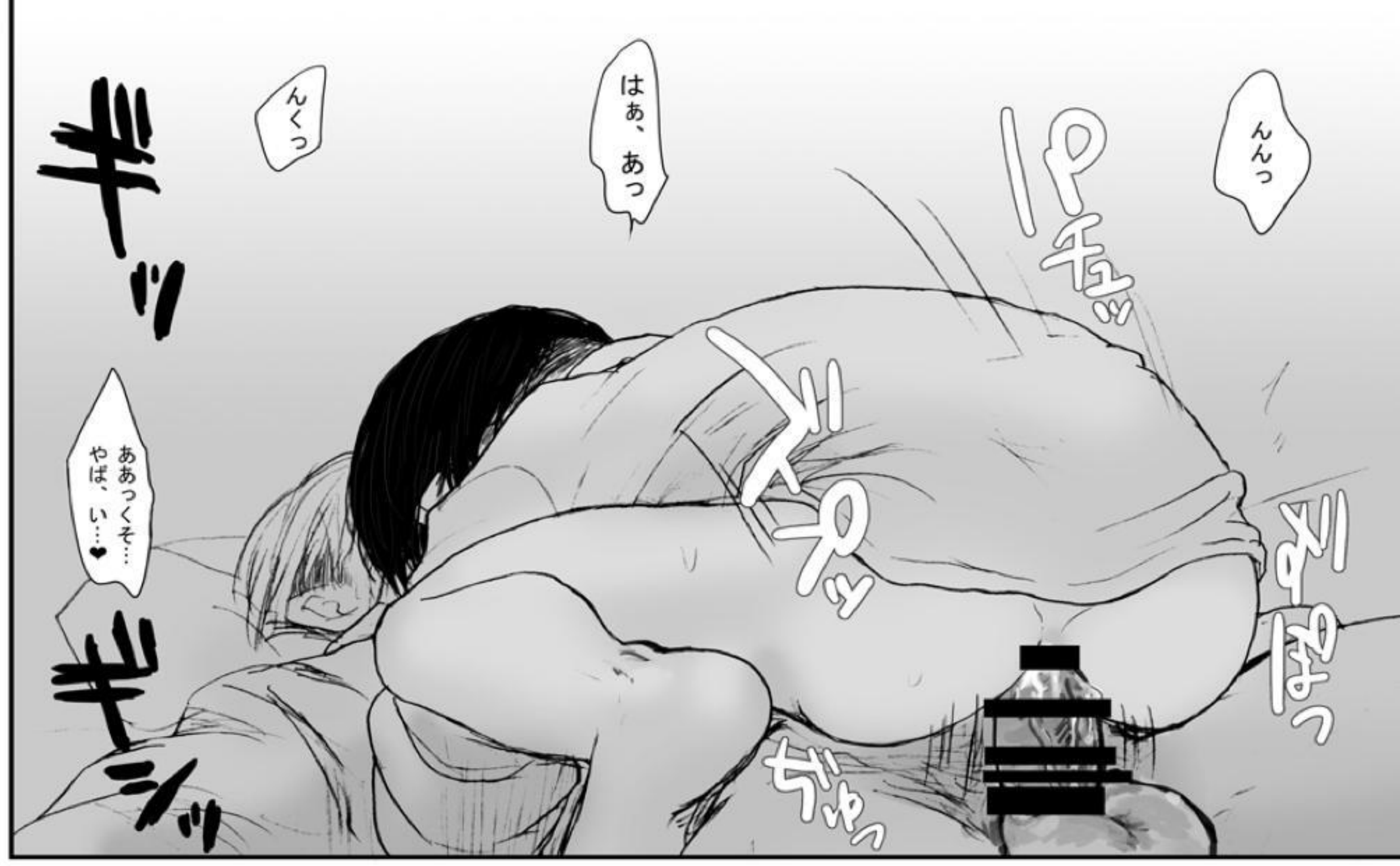
ふっ

はあっ

ぎゅっ

はっ…
はあっ
はっ
あ…
ぐちっ
ギッ

……ン
エルヴィン…
ギシッ
ギシッ
ぐちっ
ぐぷっ
はぁ
はぁっ
ぐちっ
ぐぷっ



ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ

ギシッ
なあ…よかったか？エルヴィン…
ん…？

コンコンッ

お～いリヴァーイ！

来たよ～ いるんだろ～

おみやげあるんだぞー！壁外で拾ってきた見たことのない動物の糞とか！あと骨も！

ほかには貝や土も持ってきた

ガチャッ

おっ！リヴァイ！

いらねえ物ばかり拾いやがって…せめて食べられる物だとありがたいんだがな

あっはは！ そうだよねえ！
この山に囲まれた家じゃ
町に行くのも一苦労だ
でも大丈夫！そう思って
食料や薬も持って来た
これも受け取ってくれ！

…こんなにか？
二人分にしては
多すぎると思うが…

傷みにくい食料や
冬を越すための
燃料と衣類も
詰めていたら
かさばってしまった

悪いな…

あとで私の
調査結果を
聞いてくれ
るかい？

…

なんてね…
気にするなよ
私たちはしんどい事
みんなあなたに押し付けて
しまってるんだから…
これくらいは
させてほしいんだよ

そうでもない…
俺はけっこう
楽しんでるぞ

エルヴィンは？

あいつなら
まだ寝てる

ヤイ…
彼はいま 十歳 なんだっけ…
そうだ… 一日中 寝て過ごす日もあるし デカい赤ん坊みたいなもんだ

失礼を承知で言うけどさ…

まあ彼ならきっと大丈夫だろうって思ってたしこんなヤバイ男が私の上司なんだって…エルヴィンの存在に安心してた

パタン…

でも私もエルヴィンもみんなかわらない…同じ人間なんだよね

人間の心って不思議だよ

敵は多いしあまり人に好かれる立場でもない調査兵団の団長って本当に重たいよ

エルヴィン苦しかったのかな…

あいつは団長になる前から妙な奴だったろ

エルヴィンは俺が入団するよりも前から

あの図体の中に複数の人間を容れていた

……は？

なにそれ…

複数の人……それって本で読んだことがあるけどさ…

確か…

人格の解離

メラッ
おい…なに寝てやがる
エルヴィン…？
トラオム
ベギーアデ
トイフェル
……
？
それは…？
エルヴィン・スミスの中にいた奴らの名前だ…もっとも、俺の知る限りだが…
他にもクラーゲンって奴がいたらしいが…随分前の壁外調査の帰りに消えて死んだと言っていた
トラオムがお喋りで嘘の付けない男でなエルヴィンの中にいる人間のことはだいたいあいつから聞いていた

…死ぬのか？ 人格が？

まあ…
そう易々と
信じられる
話じゃないよな

エルヴィンが
最後に指揮した
壁外調査の後だ…
可笑しなことを
言い残していた

三人とも
死んでしまったよ

この先…
私に何か起きた時には
お前の判断に任せたい

その数日後だ

これまでの記憶を
引き継いでいない
十歳のエルヴィンが
突然現れた

様子を見ているが
他の人格は出てこない

ちょっと待ってリヴァイ
私まだ混乱してるわ！
つまり整理すると…
エルヴィンは心因的ショックで
幼児退行してしまったのでは
なく……

彼は別の人格に
入れ替わっていて
しかも戻る見込みも
ないのか…？

はあ～…そうかよ
いいね その話
信じよう

話が早くて
助かる

もしもだが…
俺はあいつが
このまま空っぽの
抜け殻になっちまえば

俺の手で
終わらせてやっても
いいと考えていた

まさかあんな
手のかかる
ガキになるとはな
またエルヴィンを
殺し損ねた

だからハンジ…もう待たなくていいぞ

俺は兵団には戻らない…これまで世話になったこと感謝してる

……そうか

残念だな…エルヴィンにリヴァイを取られてしまったのか…君たちをまた外の世界に連れて行きたかったよ

…誤解があるようだが

ズズッ…

エルヴィンとは寝たがそれだけだ……情があったわけじゃない…あれはそうゆう男だ

はああ？おっさんたちがじれったいなあ！

キィー

やあ！エルヴィン おはよう！

……

エルヴィン…昨日話したハンジだ 挨拶は？

…おはようございます

おいおい私のこと忘れてるのかよ 兵舎で何度も顔合わせてたじゃないか

大目に見ろ

ササッ

キュッ

……アラ

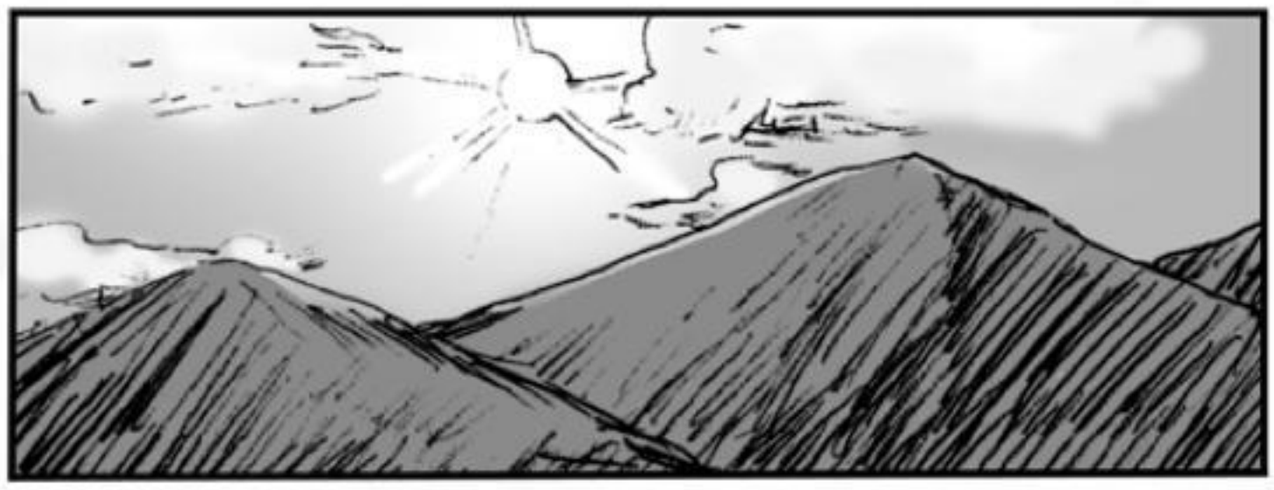
ぽかん…

…あ、あ～！さてさてエルヴィンも起きたしそろそろ壁外調査の新しい報告が聞きたい頃だよねえ？そうだよねえ？すっごいぜ！今回は！まずは砂の大地を見つけた話から始めようか！

お前らで好きにやってろ

……！

こらこら 待て待て！ どこに行くんだよ リヴァイ！



お前ら今夜泊まっていくか？

ん？いいやそろそろ出発するよ

…そうか

リヴァイまた来るよ

あなたたちの友人として

いいだろう？

……おう

それと…これは私の見立てなんだけど信じてくれるだろうか

なんだ改まって

エルヴィンのことだよ

複数の人格たちは
それぞれ役割を持っていたと
考えられるんだ

多重人格者というのは
自分の身に置かれた
状況に合わせて
適材適所…人格が
入れ替わるそうだ

全ては
自身の心を
守るためにね

しかしエルヴィンが
全てを手放して
現れたあの人格……

あれは
リヴァイのために
生まれた人格のように
思えるんだよね

こうでもしないと
あなたのこと愛してるって
言えないんじゃない？
あれはそうゆう男だろ？

自由な解釈だな…
まさかそんなわけ…

分かんねえ
男だなあ
よく見ろよ
目がそう
言ってるぞ

こうしている
間にも…ほら、
「僕のリヴァイを
取らないで！」と
言いたそうな顔して
こっちを見てる
じゃないか！

よかったね

…なにが

あなたたち
お似合いだ

さてと！
モブリット～！
そろそろ帰ろう！

日が沈む前に
山を下るぞ！

はい！

兵ちょ…リヴァイさんはどうしたんですか？
は…！
放っておけあれは何年もこじらせているただの恋煩いだ重症だが問題ない
はあ…？
どうしたの
頭痛いの？大丈夫？
リヴァイ？

なんでもねえよ…

あとがき 2017

悪魔のエルヴィン団長がとつぜん10歳児になってしまった話でした。
エルヴィンは自分の容姿も10歳だと信じ切っているし、
右腕もあるものだと思い込んでます。

いろいろ無理のある話だなぁと私も思いますが、
エルヴィン死ぬかもしれんから、はよ隠居させてハピエン描こう!と
当時（王政編中）の私は思ったのです。

原作軸エルヴィンは、人格を殺しでもしないと
幸せになろうとしてくれないから、思い切って殺しました。
ただ純粋な男になってリヴァイと向き合わせるように。

今思うと、無知が残酷であることを知っているエルヴィンが
全てを投げ捨ててリヴァイと一緒に過ごすなんて
考えられない選択だと思います。
でも二次創作なんでOKです。

前半でショタヴィンとリヴァイの視線を、わざと噛み合わないように
描いたのですが、楽しかったです。

沙羅双樹
2016.01.24

※無断転載・アップロード・転売等を 禁じます※

ふう…
リヴァイ！
ポホーン
フシュッ
ブオン
終わった？
タオル持って
きたぞ！
しっかり汗
拭かないと
風邪を引いて
しまうんだろ？
キリッ
お、おう…
ほめてほめて～

ニコー

ありがとうな…

プルプル

ママゴトのつもりか…
妙に人の世話をしたがるようになったな…
ハンジから貰った本の影響かもしれんな

はぁ…

ぷにぷにぷに

ぽむ ぽむ

※理想

リヴァイ

なんだ…

ガッ

ゲキッ

また目逸らしてた…なんで？

ドドドド

なんでって…べちゅに

もごっ…

意味あねえよ…

ぶちゅー

おっ…おい
エルヴィン…ッ！

ダッ

わ――――っ

……

ははは

まて…

やり直せ！

え？

もう一回だ！
早くしろ！

リヴァイとエルヴィンにとって
これが初めてのチュウだった